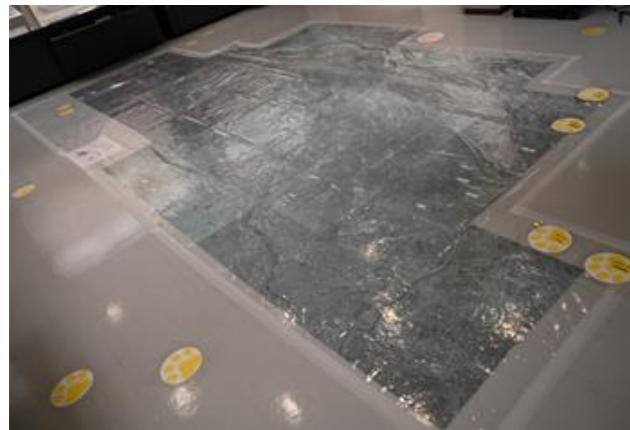


1 主に使用する資料



人工衛星で撮影・整備された衛星画像です。国土地理院25000分の1の地形図に合うようになっています。  
場所によって季節が異なり、その場所の景色が最も美しく見える季節に撮影したといわれています。  
細かいところまで見えるため、各市町村庁舎などの公共施設、学校を見つけることも可能です。


2 指導例

(1) 本時のねらい

- ・衛星写真と地図資料を関連付けて調べることで、埼玉県の地形の特色を視覚的にとらえ、理解する。
- ・学芸員の解説を地形の特色と関連づけて聞かせることで、埼玉県の地形について理解を深める。

(2) 展開

学習活動・学習内容	○指導上の留意点	資料等
1 衛星写真について知る。	○撮影年（2005）や時期について補足説明をする。	・衛星写真
2 衛星写真の見方に慣れる。 ・県庁や自分たちの市町村を探ること	○地図帳で位置を調べた後、衛星写真上で位置を確かめ、目印にカラーコーンを置く。	
3 本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">埼玉県には、何が広がっているのだろう</div>		
4 荒川の流路をたどる。 ・流路をたどりながら、土地の変化を確かめること	○見つけた場所にカラーコーンを置く。 ○衛星写真上に数名ずつ児童を乗せ、荒川の流路をたどらせる。川幅や川の周囲にあるものの変化に注目させる。 ○地図帳を見ながらたどらせる。	・地図帳
5 衛星写真と地図帳を使って調べ、地形の特色をつかませる。 ・西に山地、中央部に台地丘陵、東に低地が広がっていること。		
6 地図帳と衛星写真を使いながら、	○調べたものがどんな地形の上に位置してい	

県内の代表的な場所、建物、河川を調べる。 ・県内の代表的なものを調べること	るか、確かめさせる。  ○低地、丘陵、山地にあるものを選ぶ。 例えば、彩湖（戸田市）、埼玉スタジアム（さいたま市）、さきたま古墳群・利根大堰（行田市）川越狭山工業団地（川越市、狭山市）、浦山ダム（秩父市）、所沢航空記念公園（所沢市）、荒川、利根川、江戸川などを調べさせる。	
7 埼玉県の地形と土地利用の関係について気づいたことを発表させる。 ・山地に治水施設（ダム）が多いこと ・低地の川沿いに家や施設が多いこと	○台地、丘陵、山地、低地など、地図帳等で使っている言葉で説明させる。	
8 学芸員から地形の特色と土地利用に関する解説を聞く。	 ○学芸員は、人々がその土地の地形を生かした産業や暮らしをしていることを解説する。	・解説スライド
9 本時のまとめをする	○児童から分かったことを聞き、それをもとにまとめる。	
10 文書館について知る。	○文書館の写真や収蔵資料、子供向けイベントについて紹介する。	・文書館紹介スライド

3 児童の感想

- ・荒川の川のはばは、細くなったり太くなったりしていきわたりやすいから畑がおおいということをはじめてしました。
- ・土地のこうていさにも名前があることをはじめてしました。山にはダム、ひくいところは平らで水が

4 担当より

- ・本指導例は、小学校学習指導要領社会科4年の内容（1）ア（ア）（イ）・イ（ア）、を受けたものです。
- ・地図帳や市町村の副読本、白地図帳等と衛星写真等を関連付けて調べることで、視覚による理解を深めることができます。また、地図帳と衛星写真を見比べる中で地図利用に慣れ、調べる力の向上につなげることができます。
- ・ステージなど、高いところから衛星写真を見ることで、県内の様子を一望することができます。体育館のような広い場所での授業がおすすめです。
- ・当館の立体地図セットを組み合わせて調べることで、立体地図による高低差と写真による視覚情報を関連付けた学習も可能です。詳しくは学校等支援担当へ御相談ください。

